一人ひとりの学びの「場」を支える
みらい学園学校図書館
自ら学ぶ子・ともに学ぶ子を育て、支援する

自ら求める読書活動（話し合いと欲求によるOUTPUTの読書）の豊かな広がりを目指して



図書館を単なる読書の場所ではなく、学びを支える教育活動の中核として活用する

個別最適な読書活動の「質」を提供する授業展開
教科を横断する学び・カリキュラムマネジメント

Ⅰ. 教育課程の展開と学校図書館

教科横断的な視点（教科の枠だけにとどまらない教育活動の展開）**には、学習基盤の3つの能力**
言語能力・情報活用能力・問題発見・解決能力　が必要

その「場」として

「四空間のある図書館」

Inspiration（わくわく）空間

Creative（創作）の空間

Meeting（出会い）の空間

Learning（学び）の空間

出会う・学ぶ・対話する・発信する

時空を越えて様々な文化・知識・技術・人に出会える
わくわくの楽しい場、空間

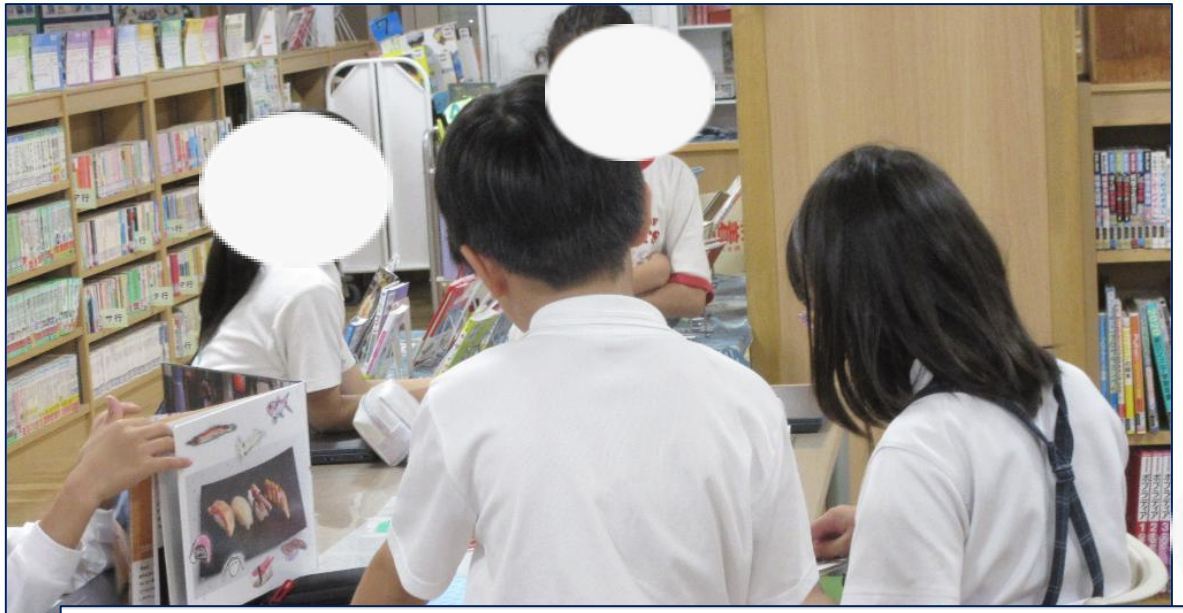
探求・学びでわく
わくする過程を楽
しみ、想像し、らせ
ん状に高めていく

インスピレーションを得て
新たなものを創造・発信

四空間がつくる学びの循環



2．図書館の「場」を活用した学び〈カリキュラムマネジメントでの読書活動〉





図書館の「場」を活用した学び　前期課程　例

①図書館利用指導
　「図書館の地図」を活用して
　百科事典利用指導「ひゃっか王からの挑戦状！」

②多様な資料で教科書での「学び」から広げる・深める主体的な読書活動（Input→Output→Outcome）
　２年生　「神話を読む」
　　→比較して自分で選ぶ「どちらがおきにいり？」→「お気に入りの民話を見つけよう」
　３年生　『あまがえるりょこうしゃ　とんぼ池たんけん』に「キャッチコピー」をつけよう
　４年生　「松井さんの不思議タクシー」map（協働学習）
　６年生　「笑うから楽しい」「笑いを広めるCMパンフ」作成（協働学習）

③自分の課題を考えるBooktalk、課題を追求するPathfinder
　５年生　「バリアフリーを考える」Pathfinder
　６年生　「戦争」ではなく「」を　BooktalkとPathfinder
　　「暮らしのQOLを考える」BooktalkとPathfinder

④クラスの「学び」を異学年の「学び」に広げる・つなげる
　３・５年生　『どう解く?』『ほしぞらのたからもの』
　４年生　「ノンフィクションで考える読書」『ヒロシマ消えた家族』『せんそうしない』
　５年生　６年生作成「笑うから楽しい」CMパンフに投票

図書館の「場」を活用した学び　後期課程　例

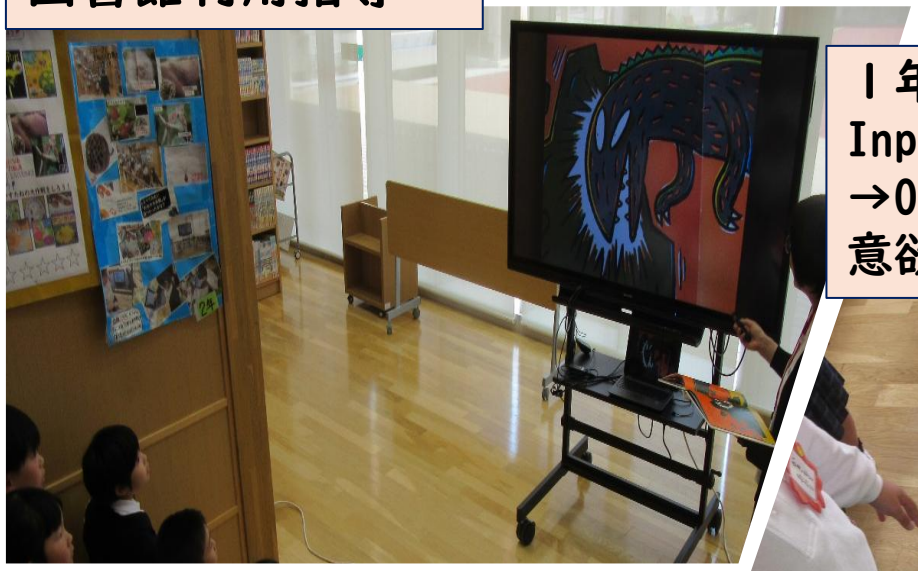
①朝の図書館活動から教室での読書へ
　読書する力を身につける
②７年生　対話を通して自分の価値観を見つめ、考えを深める（道徳）
　Booktalk　「考える読書　ふだん考えていないことを深く考えてみる」
　『どう解く？』『ほしぞらのたからもの』
　ビブリオトーク「心に残る1冊」　6年生の時に読んだ本をもう一度読んでみる
③８年生　Pathfinder
　「過去の災害を知り　わたしたちのみらいを守る」（社会科）
　「自転車の乗り方ルール」協働学習でポスター作成（保健体育科）
　「短歌」の「ことば」を集める（国語科）
④９年生　Booktalk、資料提供
　「ヒロシマ」「沖縄」を訪れた私たちは「戦争」ではなく何を「みらい」につなぐのか
　　～修学旅行の「学び」を広げ、次に「つなぐ」ために～　（総合）
　『なぜあらそうの』読み語り
　「伝えたいことを伝える」（情報リテラシー）

⑤図書委員会　主体的に活動する
　本年度のテーマ決定　「静かだけど本の世界で冒険中」
　夏の読書週間　「読書deBingo！」「この本はいかが？　プレビュー朗読」

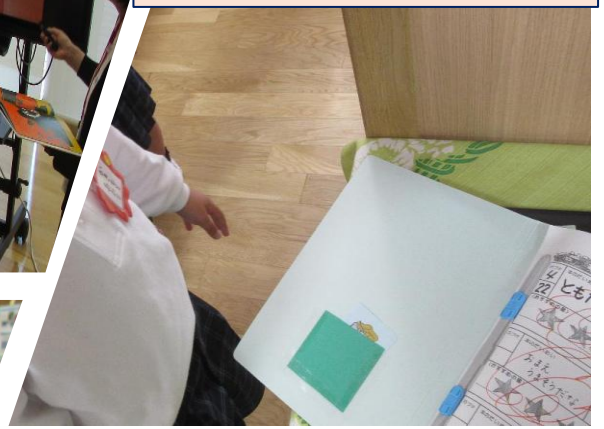
図書館の「場」を活用した学びのつながり　例

①クラスの「学び」を異学年の「学び」に広げる・つなげる
②ビブリオトーク　FirststageからSecondstageへ「心に残る１さつ」
③「みらい」からヒロシマ、沖縄そして「みらい」へ　持続可能な平和を　合同発表会
④図書館の「場」をShare
⑤図書委員会　主体的に活動する
　本年度のテーマ決定　「静かだけど本の世界で冒険中」
　夏の読書週間　「読書deBingo！」「この本はいかが？　プレビュー朗読」

図書館利用指導



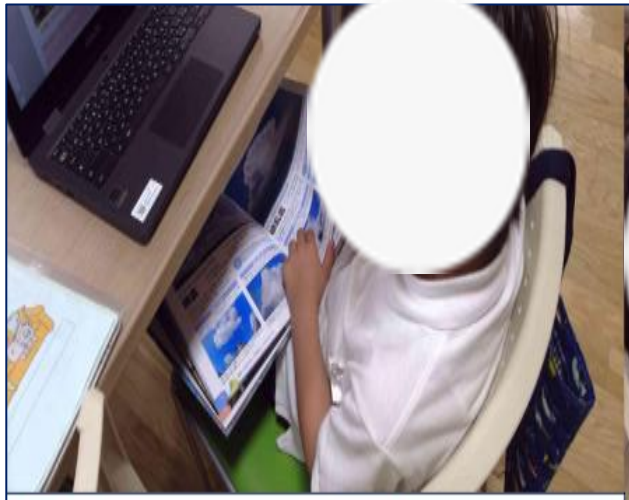
１年生の
Input→Output
→Outcome（次への意欲）







２年生のInput→Output→Outcome







お話を聞く→心と相談して星をぬる
→どんな心になったのかの会話をする

「NDCのうた♪」を確認し、自分が興味を持ったNDC3・4の探検レポートをする

３年生の情報収集・整理・表現



５年生の情報収集・整理・表現







学年が上がると情報活用の内容に書誌情報も収集し、判断・表現する

「ひゃっか王からの挑戦状！」にTry！

回答者

Tryする挑戦状



ポプラディアで調べた内容

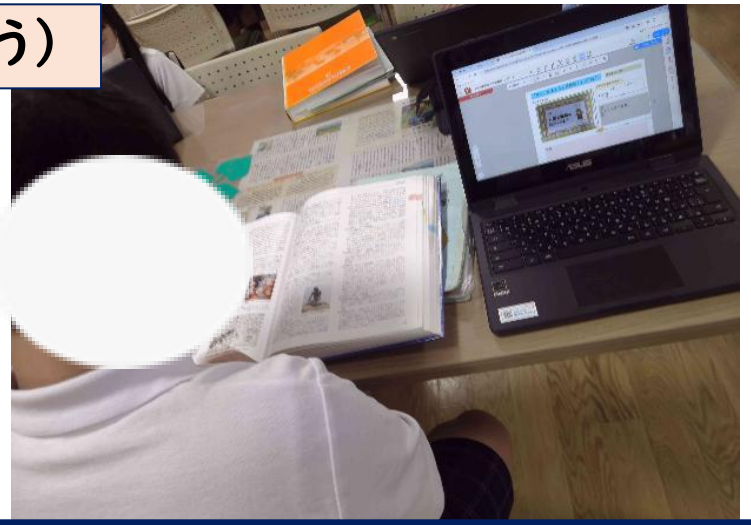
３巻　１７０　ページ
見出し語
「　おなら　」

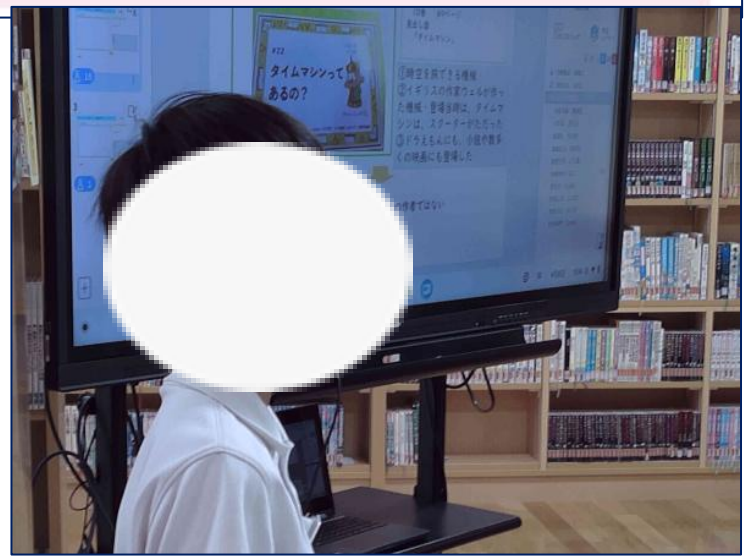
①半分以上が窒素その他の酸化炭素、水素、酸素
②硫化水素、インドール、スカール悪臭をもつガスがはっせいする
③食べ物が変わる

回答
おならが臭いのは、りゅうかすいそやインドール、スカールが悪臭もっていて、それでくさいおならに変わっている。

4年生　情報活用力（百科事典を使いこなそう）





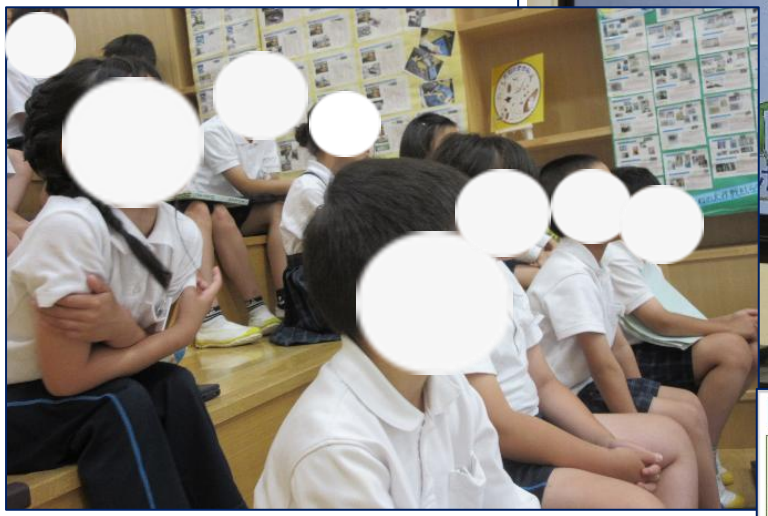


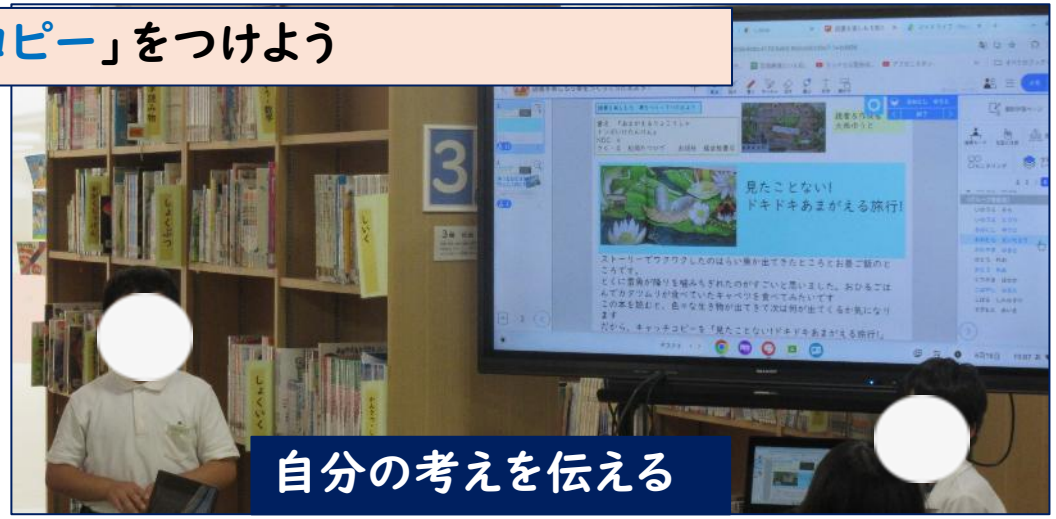
「ひゃっか王からの挑戦状！」にTry！：検索した情報を整理してまとめ、新しい発見を発表して伝える

多様な資料で教科書での「学び」から広げる・深める主体的な読書活動

3年生 『あまがえるりょこうしゃ とんぼ池たんけん』に「キャッチコピー」をつけよう







自分の考えを伝える





ストーリーで、ドキドキしたのは、最後らへんの人間が出てきたところです。
とくにびっくりしたところは、怖いのにお客さんが来るところがびっくりしました。
この本を読むと、最後に人間が出てきたから心がドキドキワクワクします。
だから、キャッチコピーを「ドキドキワクワクの、あまかえる旅行の始まり始まり」にしました。



ストーリーでドキドキワクワクしたのは、ライギョが出てくる場面です。
とくに、ライギョがあみをかみくだいた場面です。
この本を読むと、ドキドキワクワクします。
だから、キャッチコピーを「とくべつな旅行にごしょうたい」にしました。

伝えたい「わくわく・ドキドキ」にあった「ことば」を「帯のコーナー」を参考にして考え、画像と共に表現する

2年　比較して自分で選ぶ「どちらがおきにいり？」→「お気に入りの民話を見つけよう」

日本の神話を楽しむ
どちらの神話がおこのみですか？





えらんだのは『いなばの白うさぎ』です。それは、つづきがおもしろかったからです。
いちばんこころにのこったのは、白うさぎがさめのかずをかぞえているところです。
この神話を読むと、わくわくしておもしろいです。



日本の神話を楽しむ
どちらの神話がおこのみですか？

えらんだのは





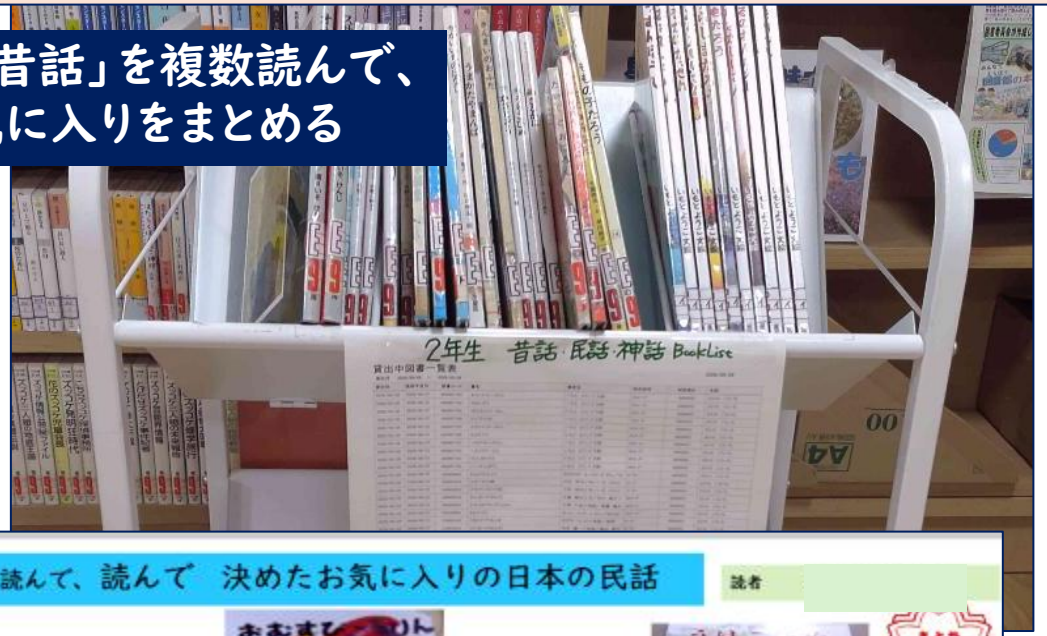
えらんだのは『やまたらおろち』です。それは、
いちばんこころにのこったのは、すさのおがやまたのおろちをたおしたところです。
この神話を読むと、どきどきしてかっこいいきもちになれます。



物語は教科書がすべてじゃない　全文を知る
三文でまとめてつたえる

学びを生かして

気になった「昔話」を複数読んで、「一番のお気に入りをまとめる



読んで、読んで、読んで　決めたお気に入りの日本の民話

読者









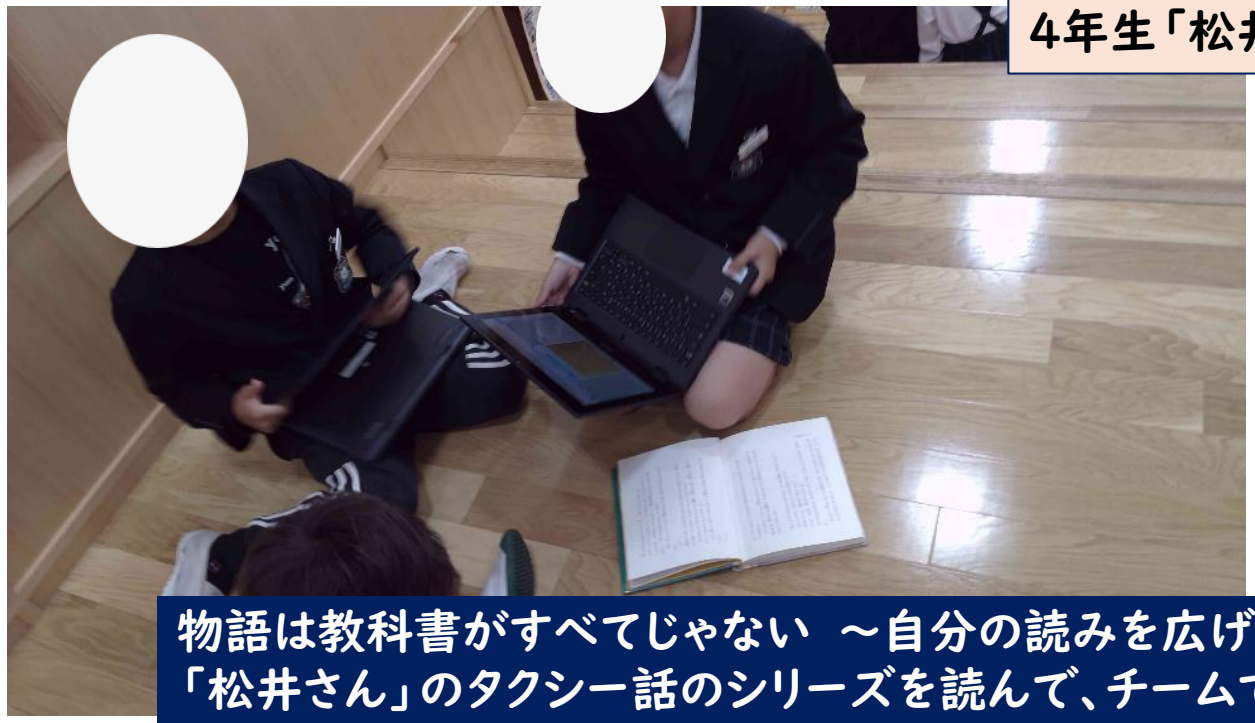






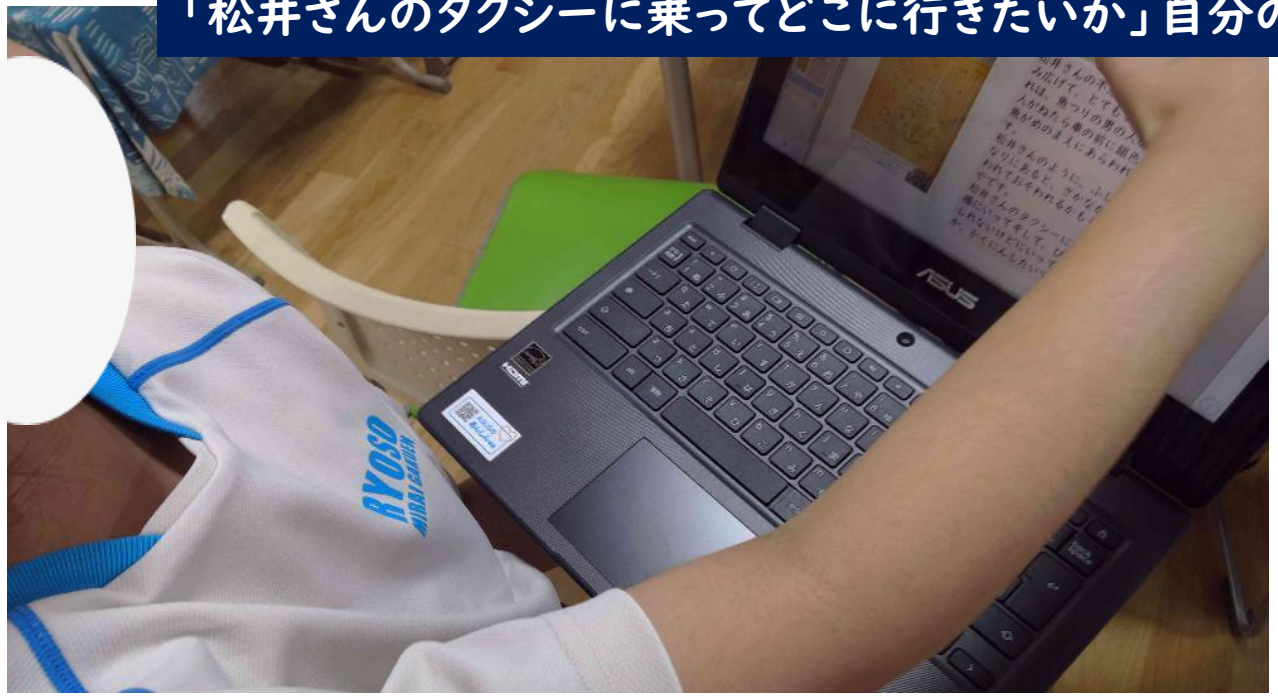
一番のお気に入りは、『かえるをのんだととさん』です。どうしてかというと、かえるをのんでからいろいろととさんはヘビや、おにとかのむからおもしろいです。読むとよくなったと思ったらよくないところがおもしろいです。

4年生「松井さんの不思議タクシー」map作成（協働学習）





物語は教科書がすべてじゃない　～自分の読みを広げる図書館資料の活用～
「松井さん」のタクシー話のシリーズを読んで、チームで発見した「地名」を「不思議タクシーmap」にまとめる
「松井さんのタクシーに乗ってどこに行きたいか」自分の考えを書きまとめる





自分の課題を考えるBooktalk、課題を追求するためのBooktalkとPathfinderの活用





6年「戦争」ではなく「」を　BooktalkとPathfinderで自分のテーマを「ことば」にする





自分のテーマを決め、研修旅行へ
帰校後、「紀行文」「新聞」をまとめる

4年生 「ノンフィクションで考える読書」『ヒロシマ消えた家族』『せんそうしない』





「ビブリオトーク」で学んだまとめた方を活用して表現する





教科書教材に加えてノンフィクションを知る

6・9年生と同じ資料を見る

6・9年生合同発表会に参加する意味につながる



5年生 「バリアフリーを考える」Pathfinderを活用して
自分の設定した課題にアプローチ

ユニバーサルデザインについて調べる

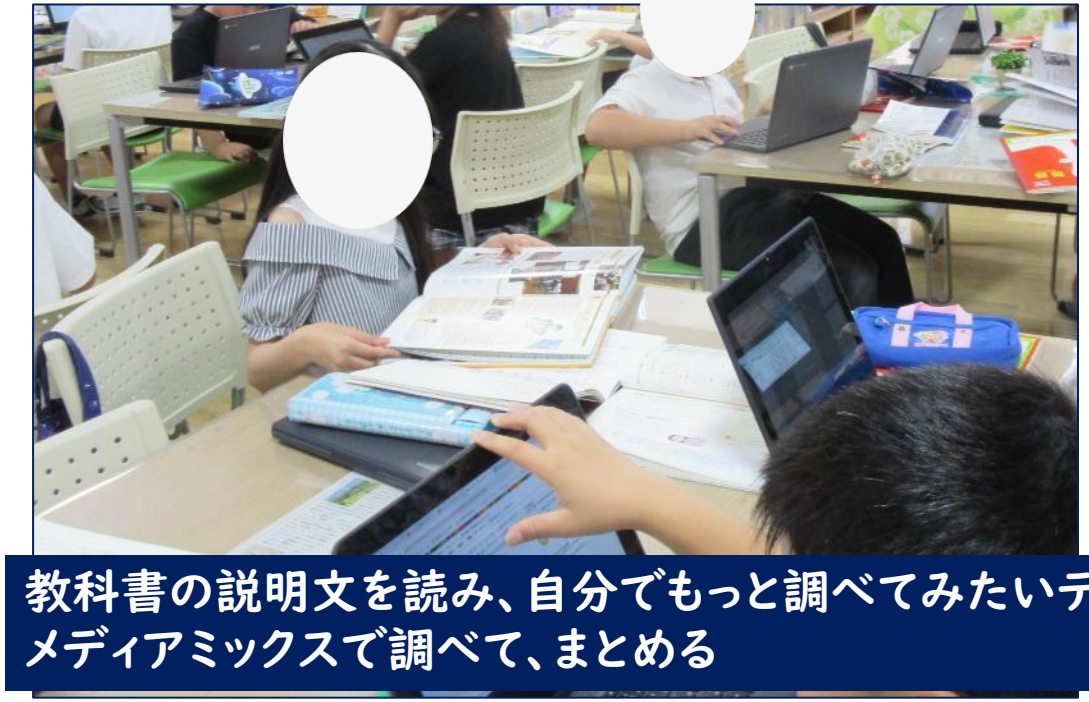


図書館資料の活用力（情報活用能力）を高めましょう

調べる手順

①ＮＤＣ3（社会の本）コーナーの「ユニバーサルデザイン」や「ふくし」から必要な資料を見つける。
②もう少し詳しく調べたいことやちがった内容についてを信用できるサイトのインターネット資料から調べる。（Pathfinderの活用）





ユニバーサルデザインについて調べる

インターネット資料Pathfinder



TOPPA!!! SQUARE あらゆるビジネス課題を解決する"ONE TOPPAN"統合ポータルサ

身の回りにあるユニバーサルデザインの具体例をご紹介
｜TOPPAN｜TOPPAN CREATIVE



The Asahi Shimbun SDGs ACTION!

ユニバーサルデザインとは？意味や7原則、具体例一覧を
写真付きで解説：朝日新聞SDGs ACTION!

教科書の説明文を読み、自分でもっと調べてみたいテーマを決め、
メディアミックスで調べて、まとめる

６年生　「笑うから楽しい」CMパンフ作成～みらい学園に「笑い」をひろげよう～（協働学習）



「わらい」を協働学習で読み解く・どこをどのようにパンフレットに表現するかを決める



画面構成や推しのコメントの表現方法〈文体・修辞〉など今までの学びを生かして考える



他のチームの工夫を知り、自分たちのチームに生かす



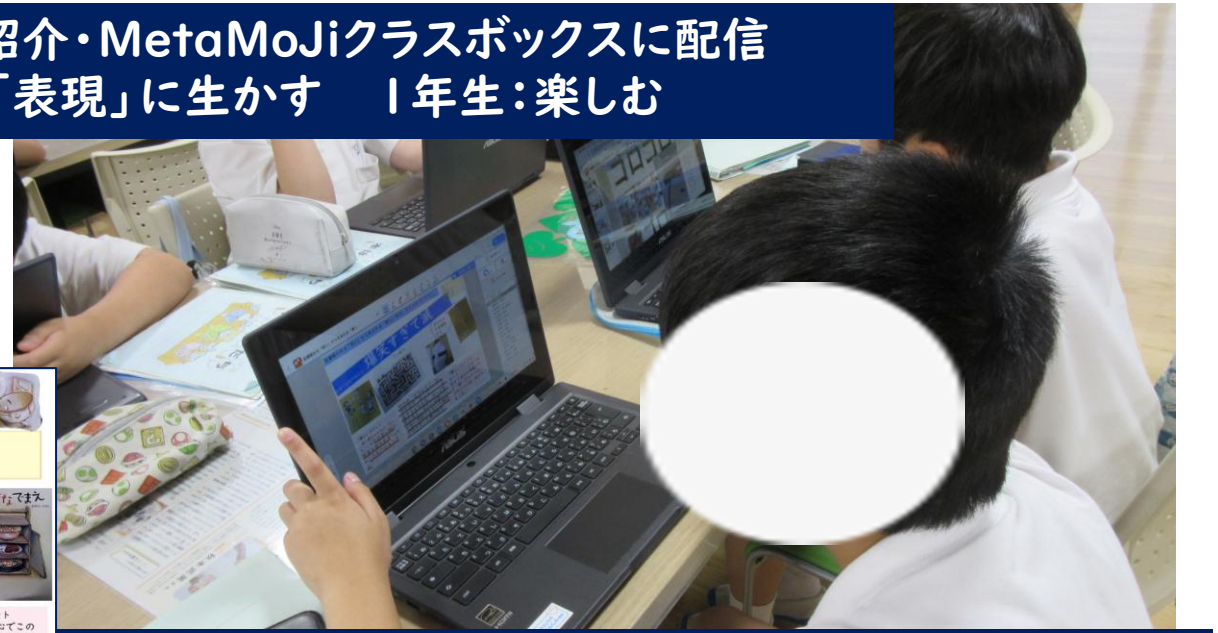
プレゼンテーション

この作成が〈表現発表会ポスター作成〉につながる

各班の「CMパンフ」をスライドショーにまとめて1～5年生に紹介・MetaMoJiクラスボックスに配信
5年生：ビブリオバトルとして投票　　2～5年生：自分たちの「表現」に生かす　　1年生：楽しむ







ビブリオバトルとしてCMパンフの内容を吟味する5年生



スライドショーで気になった「笑い」を大階段で楽しむ1年生



絵本でのビブリオトークでの表現つなげる2年生

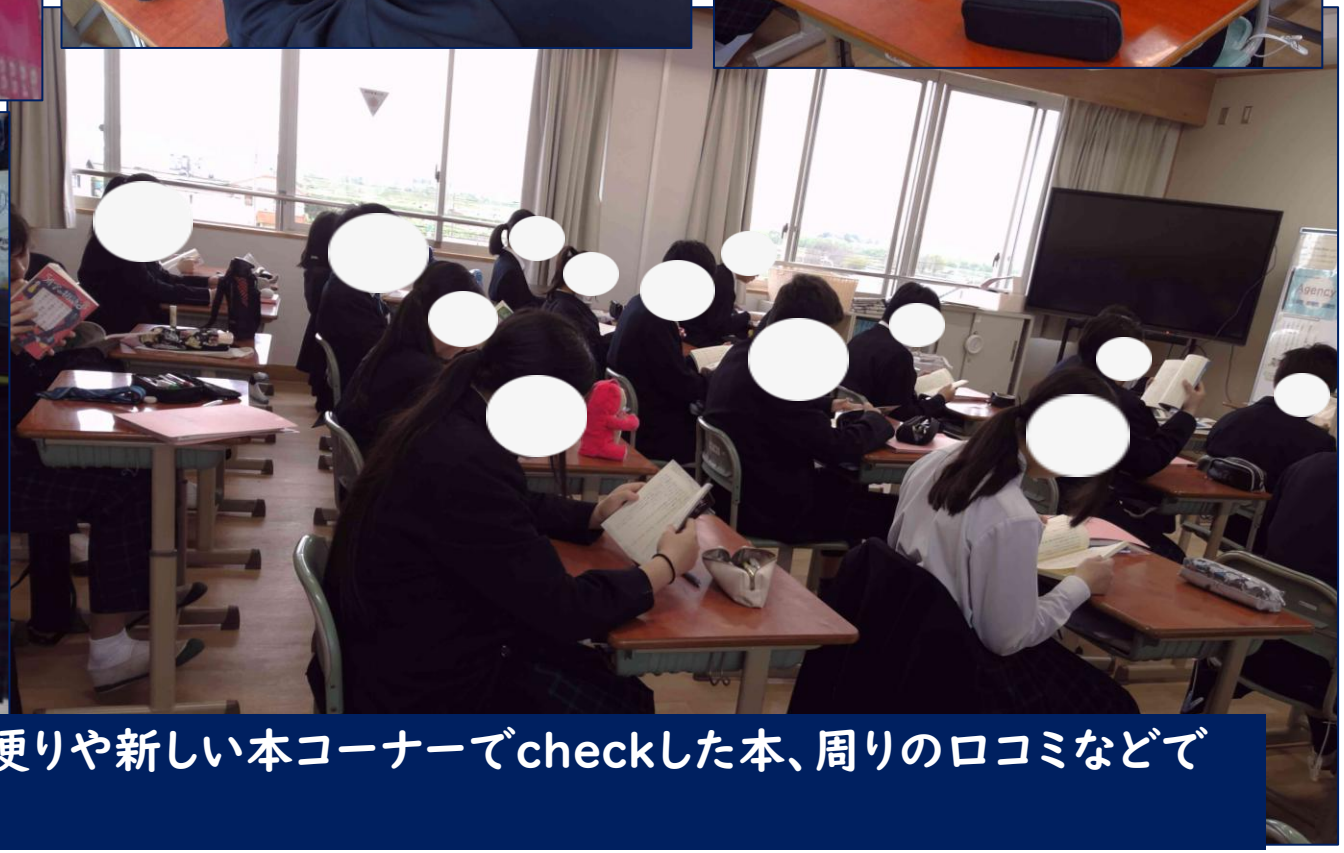
朝の図書館活動から教室での読書へ　～読書する力を身につける～











前期課程の時から気になっていた作者や作品、図書便りや新しい本コーナーでcheckした本、周りの口コミなどで選書して集中して読む時間に浸る

7年生　対話を通して自分の価値観を見つめ、考えを深める（道徳）

複数の資料をつないで考え、ふだん考えていないことを深く考えてみる







テーマについて対話

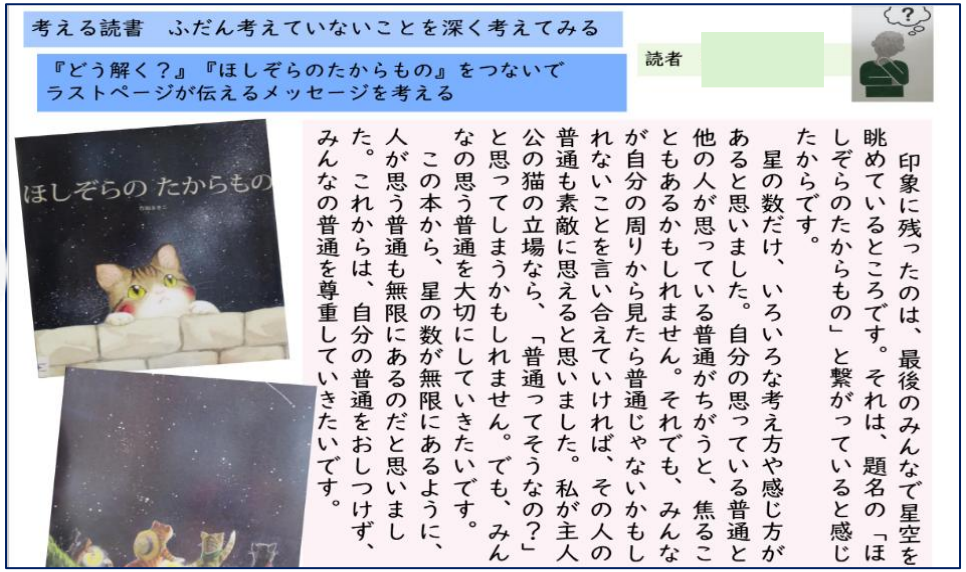
⇩

「問い」に対する回答を「ことば」として表現

大階段の「場」を活用を活用した学年合同での学び







考える読書　ふだん考えていないことを深く考えてみる

『どう解く？』『ほしぞらのたからもの』をつないで
ラストページが伝えるメッセージを考える

読者

印象に残ったのは、最後のみんなで星空を眺めているところです。それは、題名の「ほしぞらのたからもの」と繋がっていると感じたからです。

星の数だけ、いろいろな考え方や感じ方があると思いました。自分の思っている普通と他の人が思っている普通がちがうと、焦ることもあるかもしれません。それでも、みんなが自分の周りから見たら普通じゃないかもしれないことを言い合えていければ、その人の普通も素敵に思えると思いました。私が主人公の猫の立場なら、「普通ってそうなの？」と思ってしまうかもしれません。でも、みんなの思う普通を大切にしていきたいです。

この本から、星の数が無限にあるように、人が思う普通も無限にあるのだと思いました。これからは、自分の普通をおしつけず、みんなの普通を尊重していきたいです。

9年生　「ヒロシマ」「沖縄」を訪れた私たちは
「戦争」ではなく何を「みらい」につなぐのか

2025年度 6・9年生作成
〈「みらい」から「みらい」へ〉
これにつながる「想い」を新聞としてまとめる



修学旅行事前学習に
『ひめゆりの少女』を読む



修学旅行後、何を伝えるのかをまとめるために
必要な図書館資料を確認する



大階段に掲示された2026年度6・9年生作成
〈「みらい」から「みらい」へ〉

修学旅行後のBooktalkで自分の
「想い」を考えてまとめる





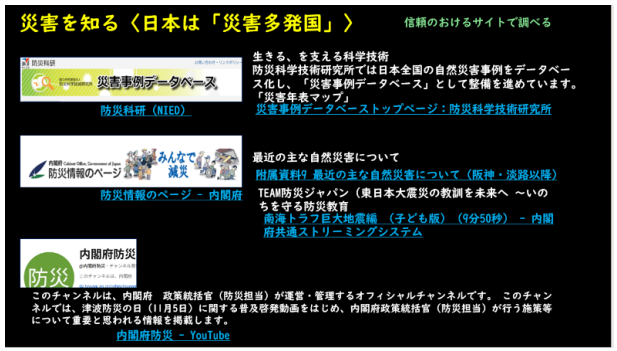
読み語り
『なぜあらそうの』
ニコライ・ポポフ作



「なぜあらそうの？」
文字のない絵本からのこの問いかけに、
ヒロシマ・沖縄を学んだ私たちは
どう答えることができるのか？

8年生　Pathfinder「過去の災害を知りわたしたちのみらいを守る」を活用して課題を追求する（社会科）　教科書での学びを自分の課題として深める









メディアミックスで提供されたパスファインダーを活用する



課題を焦点化するための解説





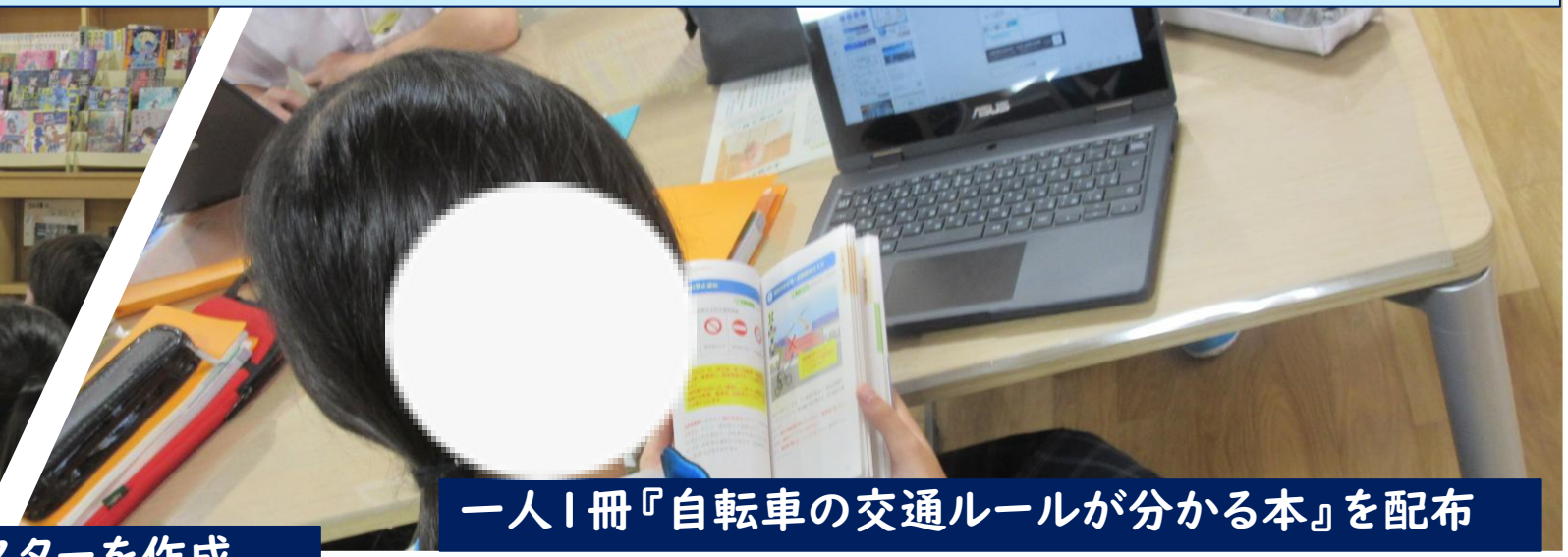




自分の設定した課題を自分の表現方法でまとめる

「自転車の乗り方ルール」協働学習でポスター作成（保健体育科）「安全利用５則」を基に、伝えたいことを『自転車の交通ルールがわかる』を活用してまとめる（協働学習）





一人１冊『自転車の交通ルールが分かる本』を配布

資料から選んだ内容をチームで相談してポスターを作成





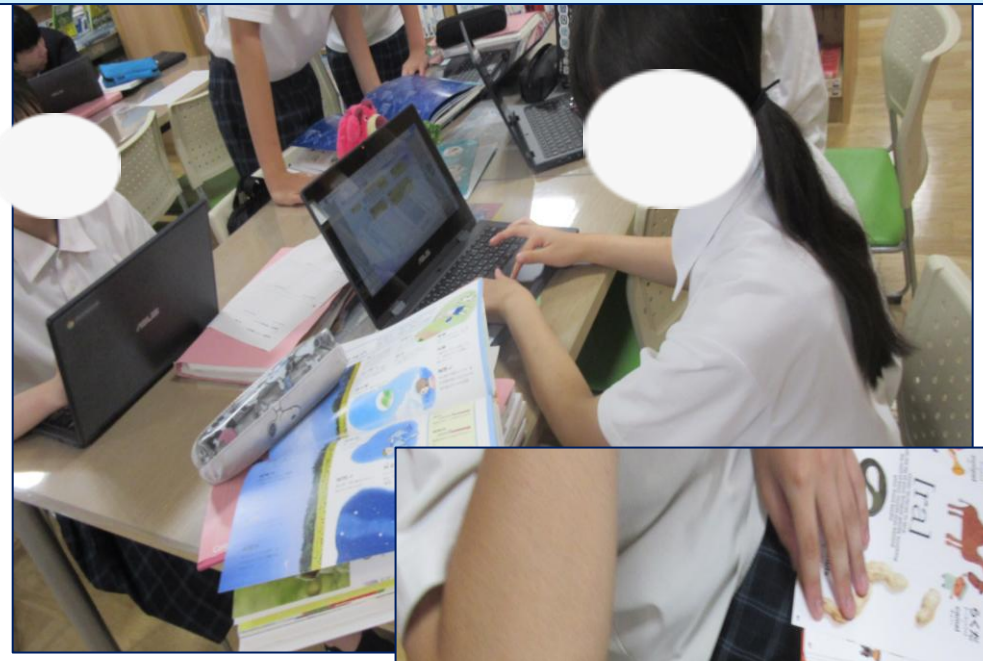


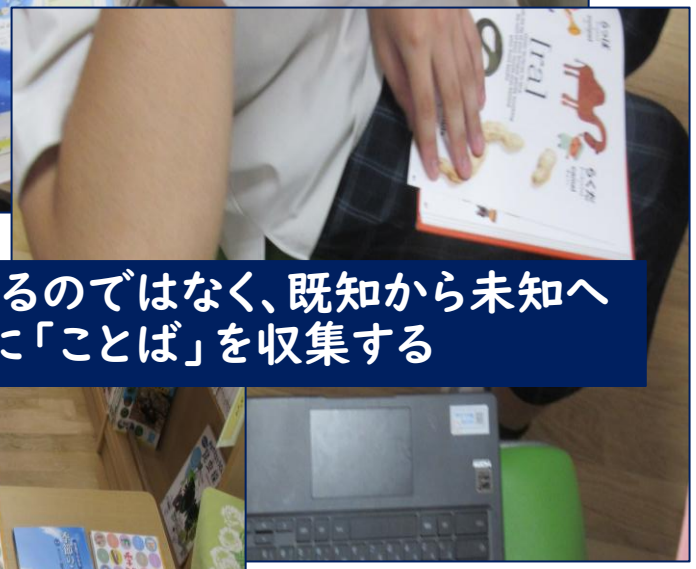




駐輪場・靴箱ホールに完成ポスターを掲示

「短歌」の「ことば」を集める（国語科）自分の中の「ことば」から視点をひろげる





安易に「ことば」を集めるのではなく、既知から未知へと根拠となる資料を基に「ことば」を収集する



ピックアップした資料の他にも、文学（NDC9）や言語（NDC8）を活用する

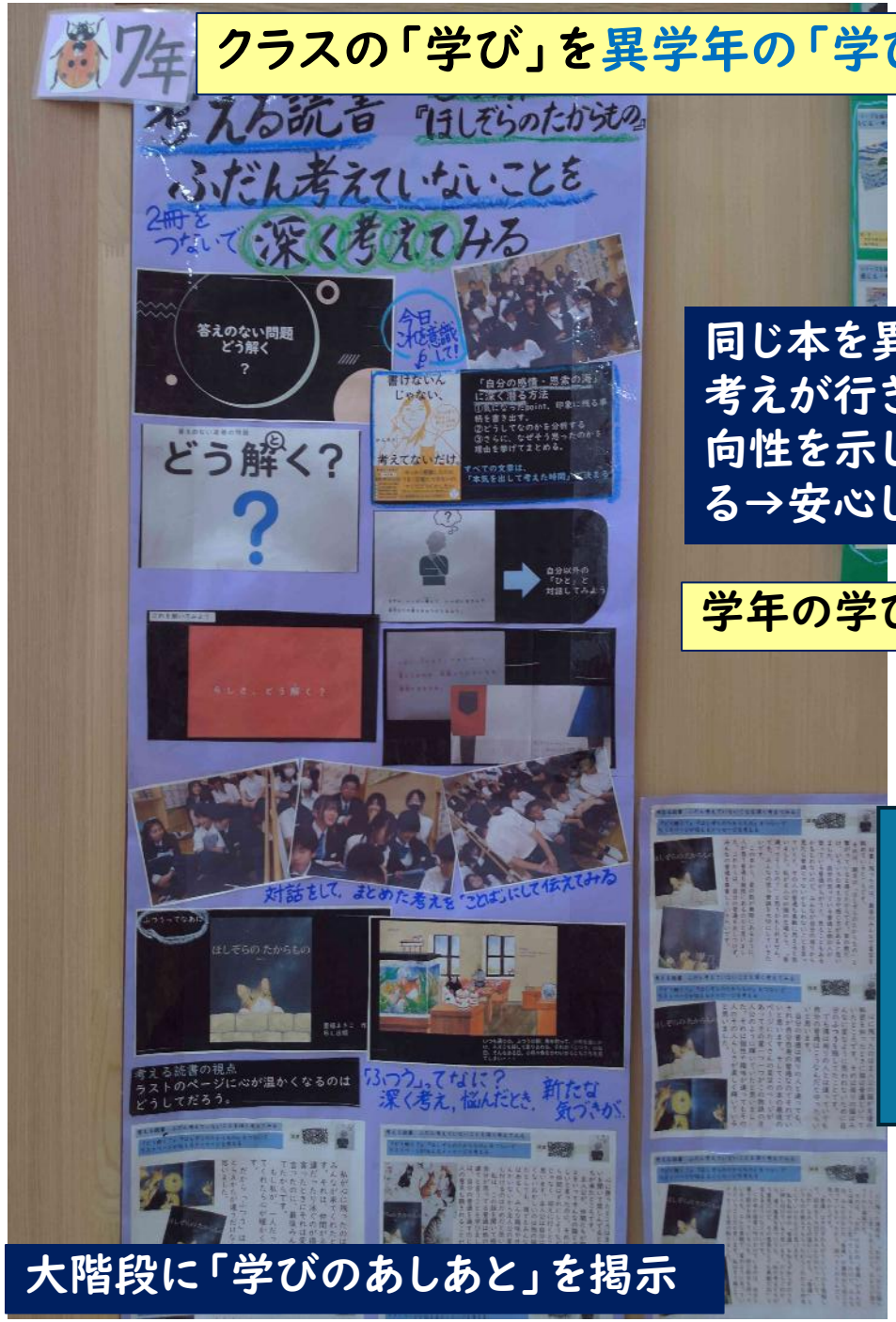
図書館の「場」をShareする　大階段ビブリオトーク発表会・テーブル席図書館資料を活用した教科学習





図書館の四空間をShareすることで子どもたちの読書活動の機会が確保される

クラスの「学び」を異学年の「学び」に広げる・つなげる



大階段に「学びのあしあと」を掲示

同じ本を異学年で読む→考えが行き詰まったときの方向性を示してくれるものがある→安心して書ける



「正義どう解く?」「らしさどう解く?」で対話する5年生

学年の学びにつながり・広がり・たかまっていく「読書」

4年生の学びに生きる「考える読書」



大階段8年生の「学びのあしあと」とつながりながら、読み深めの方向性を知り、自分の考えを深めて表現する

読書週間　ビブリオトーク　FirststageからSecondstageへ「心に残る１さつ」

考える読書として　InputからOutput、Outcomeへ







自分のペースで読み深め、今までの「ビブリオトーク」を生かしてまとめる





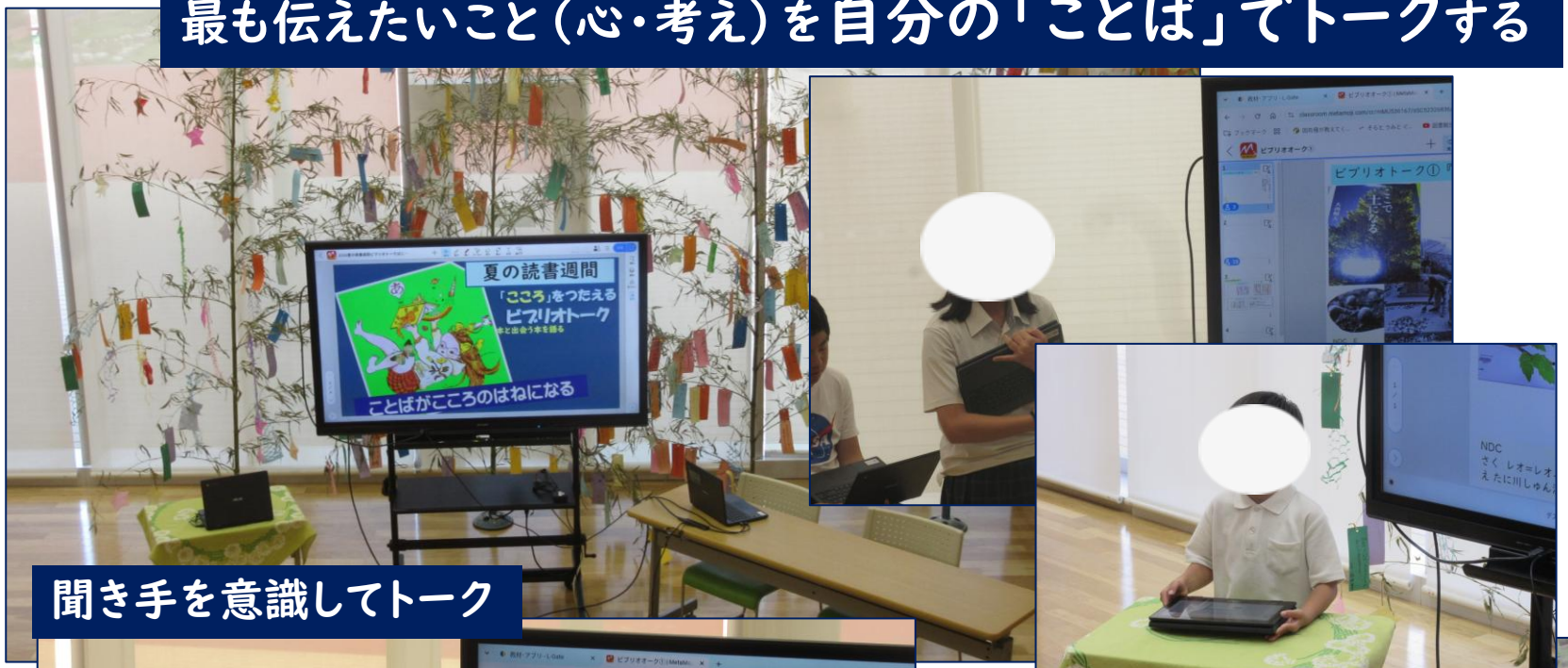
考えて本を選ぶ→考えながら、対話しながら読む→考えたことを「ことば」と「画像」で表現する



7年生　ビブリオトーク心に残る１冊　　前期課程で心に残った本を再度読んでみる

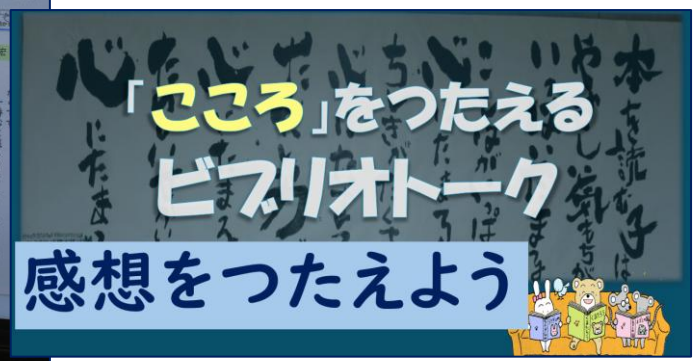
ビブリオトーク発表会〈 Outcome 〉1年生～6年生　　Outcome が次のInputへ

最も伝えたいこと（心・考え）を自分の「ことば」でトークする

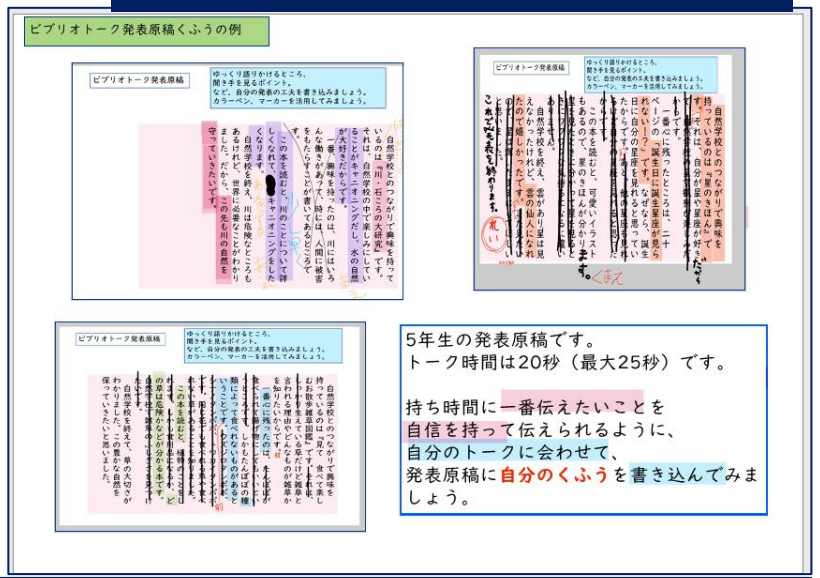


聞き手を意識してトーク





情報活用能力の一つとして「発表原稿」作成（4年生以上）





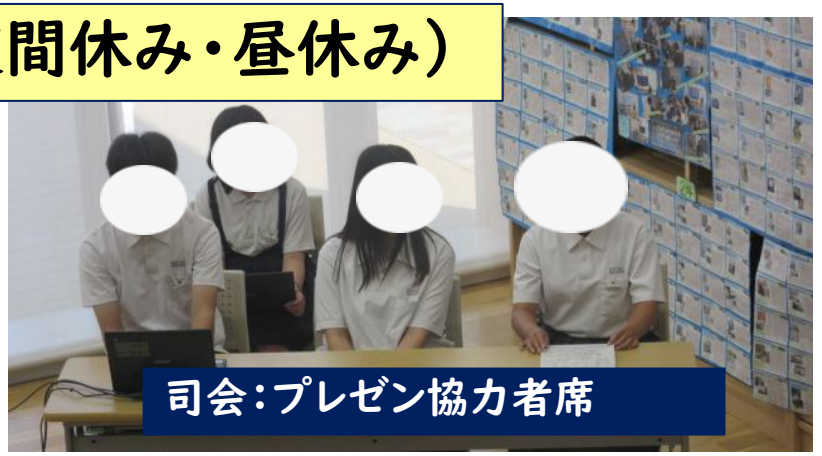
感想を伝える

発表を聞く、感想を伝える・思考が広がる、読書の輪が広がる

読書週間「みらい」から「みらい」へ　6・9年生合同発表会（業間休み・昼休み）







5年生感想

私は、６，９年生の合同発表会に参加して、「平和とはなにか」について学びました。
私は9年生の「戦争は悲しみを生むだけ」という考えや、6年生の感じた締め付けられるような気持ちに対して、人々は平和になったり利益を得るために戦争をするけれど、利益なんかよりも失うもののほうが多いことを改めて思い知りました。
私は、平和を未来につなぐために、６，９年生のしていた活動を受け継ぎ、戦争の恐ろしさ、失うものの多さを「みらいへ」と届けていきたいです。









図書委員会　自分たちで考えた今年度のテーマ
「静かだけど、本の中で冒険中」

夏の読書週間での企画「読書クイズdeBINGO！」

クイズ作成、台紙作成、朗読準備、イラスト作成と各作業班に分かれて準備



委員会も活動に満足





クイズの本を探して、答えを見つけて、楽しんだ！またしたい！

地域とつながるみらい学園学校図書館



ふるさとみらい科と連携して作成するたてわり班での読書活動「PhotoBook作成」



寄せられた感想より

・とても明るくて、きれいで、自分の子どもたちが通う学校にもこんな図書館があればいいなと思います。
　壁に貼られている子どもたちのおすすめの本やビブリオトークの内容はどれもおもしろいです。時間があれば、いつまでもよんでいたい。

・自分で本を読んだり、読んでもらって聞いて感想を書く機会など、本にふれる時間、発表することをふやしてもらえるのは子どもにとって学びが大きいと思うのでありがたいです。

・図書とパソコンでの発表の組み合わせなど、私が小中学校で受けた授業にはない形式で、素晴らしいと感じました。



四空間のある図書館で学びを広げて

「みらい」へ

